

なお君

上浅恵美

広島県・21歳・大学生

ごめんね、なお君。

いっぱい嫌なこと言っただけ。優しくしてくれたのにそっけなくして。素直じゃなくて。

12歳、中学1年生の春。優しくしていつも笑顔のなお君が大好きになりました。本当はね、小学校違っていただけなお君のこと知ってたんだよ。小学6年生の夏、一度だけ同じバスに乗ったんだ。小さな子達を席に座らせたり、帽子を直してあげたり。そんななお君を見たことがある。だから、中学校の入学式の日、教室でなお君を見つけて嬉しかったよ。

嬉しくて嬉しくて、交換日記をしていた親友に、

「私、なお君が好き」

と告白したんだ。それからしばらくして、私は風邪で何日か学校を休んだ。久しぶりに学校へ行くとなお君が、

「もう熱はないの？ 大丈夫？」

と言ってくれたよね。私は、また熱が上がったんじゃないかと思うくらい赤くなって、

「大丈夫……」

と返事をした。でもその時、周りの男の子達のひやかしが耳に入ってきた。クラス中が知ってたんだね。私は恥ずかしくて頭がクラクラして。その日から、想いとは正反対の態度をとった。

「あんな人好きじゃないよ。自惚れてるよ」

その言葉もすぐにクラス中に広まった。3年間、自分の気持を言えず、なお君に冷たい言葉ばかり言っただけ。随分後悔したよ。

あれから10年が過ぎて、もうすぐ私は22歳になる。あの時素直になれなかった悔しさが、今の私の力になってるよ。好きな人に素直に好きと言える自分になれた。今、私の大切な人に、あきれられるくらい何度も「好き」と言える。あの頃、なお君を好きになって、素直になれない自分に苦しんで、いっぱい後悔したからだね。

ありがとう。なお君。